

令和5年度事業報告

公益社団法人日本馬術連盟（日馬連）は、令和5年3月2日開催の令和4年度第7回定例理事会において承認された令和5年度の事業計画及び収支予算に基づき、以下の事業を実施した。なお、一部については、期中に補正を行った。

令和5年度の特記事項として、昨年新型コロナウイルス感染症の影響で延期された、第19回アジア競技大会が9月中国杭州で開催された。日本からは障害馬術に板倉祐子選手とスタッカティザ PS、川合正育選手とゴールドウィン、腰高知己選手とコーティスドゥニーズ Z、杉谷泰造選手とクインシー、馬場馬術に黒木茜選手とレスペラード、黒田龍之介選手とベラートレ、高田茉莉亜選手とブリタニア7、総合馬術に楠本将斗選手とヴィックデュジゾール JRA、中島悠介選手とクレジットクランチ、平永健太選手とデュークオブサセックス、吉澤和紘選手とペニーグランツがそれぞれ出場した。日本は総合馬術の団体に中国に次いで2位、個人では吉澤選手が3位であった。

また、パリ2024オリンピックに向けて、総合馬術は6月にアイルランド・ミルストリート、障害馬術は7月にオランダ・ファルケンスワールトで開催された地域予選競技会に出場して、それぞれ団体出場枠を獲得した。

その他の国際競技における特に優秀な成績として、9月にイギリスのリトルダウンハムのCCI4*-S で戸本一真選手とヴィンシーJRA が、3月にはポルトガルのマタ・ド・ドゥケで行われたCCI4*-S で北島隆三選手とセカティンカ JRA が優勝した。

各事業については、以下のとおり

1. 馬術の普及・振興

(1) 馬術に関する情報システムの運営

- ① ウェブサイト及びSNSを運営し、広く一般に各種情報を公開して迅速に広報活動を行った。
- ② 会員とのコミュニケーション手段として日馬連公式サイト・Facebook等を活用するとともに月刊機関誌『馬術情報』とリンクし、広報活動の充実を図った。
- ③ 利用者の利便性と業務の円滑化を向上させるべく「日馬連情報システム」を活用し、会員情報、乗馬情報、主催・公認大会の情報等を管理した。

(2) 機関誌発行

- ① 紙媒体の特性を活かして情報を的確に伝達し、馬術の振興及び各種記録の保存に資するため『馬術情報』を発行した。

〔発行部数 87,600部（7,300部×12か月）、対前年度比100.0%〕

- ② 『馬術情報』を日馬連会員、関係団体、マスコミ各社に配布するとともに、一般購読者に販売した。
- (3) 馬術関係資料の作成・配布
各種規程集及び日馬連で扱う馬術競技の紹介・ルール解説等の資料を作成し、頒布した。
- (4) マーケティング活動
 - ① 日馬連スポンサーとして、前年度に引き続きオフィシャルサポーター2社（日本航空株式会社・エルメスジャパン株式会社）が就任した。
 - ② JOC×NF ジョイントマーケティングを実施、アジア競技大会日本代表について「TEAM JAPAN」として発信する等により協賛を得ることができた。さらにNF オプションプログラムによるENEOS株式会社からの協賛を活用、「U30馬場馬術選手権」「U30セントジョージクラス馬場馬術競技」及び「第1回チャレンジ・ドレッサージュ2023」大会を新設、馬術競技人口の拡大及び馬術競技の普及を図った。
 - ③ パートナーシッププログラムメニューを適切に実施し、それ以外のスポンサーメリットやエルメスオリジナル・スポンサーメニューも実施した。
 - ④ 馬術振興のための一般寄付として24,100,000円の寄付金を受け入れた。
- (5) 主催競技会の放映・動画配信
 - ① NHKにおける主催競技会のテレビ放映実施に協力した（Eテレ1回）。
 - ② 主催競技会等のインターネットライブ配信を21回（他団体主催11回を含む）実施し、多くの人々に馬術の素晴らしさを伝達した。
- (6) 各種表彰
 - ① 第19回アジア競技大会（2022／杭州）で団体銀メダルを獲得した総合馬術競技出場選手4名及び出場馬所有者に特別表彰を行った。
 - ② 永年に亘り馬術界に功績のあった7名13頭（功労者4名、地域功労者3名）を表彰した。また、優秀な成績を収めた人馬4名8頭を表彰した。
 - ③ 競技馬の資質向上のための奨励策として、優秀乗馬飼育奨励金を交付した。
 - ④ 競技馬の資源確保、調教技術向上のため内国産馬の活用振興を図り、その奨励策として内国産優秀乗馬飼育奨励金を交付した。
 - ⑤ 優秀な成績を収めた内国産馬の所有者・生産者を表彰した。
- (7) NF 活動（National Federation：国内を統括するスポーツ団体）の推進
 - ① （公財）日本オリンピック委員会及び（公財）日本スポーツ協会の会議等に積極的に参加した（27回）。
 - ② 国際馬術連盟（FEI）及びアジア馬術連盟（AEF）の活動に参画し（国際会議等4回）、日本馬術界の国際的地位向上に努めた。

- ③ (公財)日本オリンピック委員会主催の「IF 等役員ポスト獲得支援:AB タイプ・IF 等事務局スタッフ派遣等」説明会に参加、支援金を活用して第19回アジア競技大会(2022/杭州)、AEF 臨時総会、FEI 総会への役員等派遣及び第19回アジア競技大会(2022/杭州)へのスタッフ派遣を行った。

(8) 馬術基盤の維持拡大

- ① 馬術振興の一翼を担う組成団体に対し、その加盟する団体が所有する馬について、飼育費助成及び優秀乗馬助成を行った。また、都道府県馬術連盟及び組成団体の事業費・事務費の助成を行った。
- ② 馬事関連団体と連携し、馬術の普及・振興に努めた。
- ③ 国内の乗用馬生産団体に対して必要な助言を行うとともに、内国産馬限定競技を主催大会に組み入れ、内国産馬活用促進のための事業を行った(第75回全日本障害馬術大会2023 Part II 内国産障害飛越競技・第75回全日本馬場馬術大会2023 Part II 内国産選手権、内国産第5課目、内国産第4課目、内国産第3課目)。
- ④ JRA 馬事公苑の整備工事が行われることに伴い、その影響を受けることとなった馬術競技会の主催者を支援するため「各種馬術競技会開催等支援事業」を8主催者18競技会に対して実施した。併せて、従前同様競技会への参加活動が行えるよう、関東学生馬術協会加盟馬術部への活動支援を行った。また、馬の多様な利活用に取り組む全国の大学馬術部を対象に、活動支援を行った。さらに、学生馬術競技会等に出場するための馬輸送費の一部補助等、全国の大学馬術部を対象として、全日本学生馬術連盟を通じて活動支援を行った(JRA 特別振興資金事業)。

(9) ガバナンスの向上

- ① スポーツ団体ガバナンスコード〈中央競技団体向け〉適合性審査の遵守状況に関する自己説明を日馬連公式サイトに掲出するとともに、掲出について(公財)日本スポーツ協会及び(公財)日本オリンピック委員会に報告した。また、ガバナンスに関する理解を深めるべくスポーツ庁主催の説明会(1回)及びJOCNF 総合支援センター主催の研修会(3回)に参加した。
- ② 馬のウェルフェアの推進及び競技者のドーピング防止に関する知識習得のためのeラーニングコンテンツ「ドーピング防止eラーニングについて(選手必見)」を日馬連公式サイトに改めて掲出、関係者の受講を強く勧奨した。また、馬の健康とウェルフェアの維持管理及び競技の公正確保を目的に、日馬連獣医規程に基づく馬の補助的療法に関するガイドを日馬連公式サイトに掲出、関係者の認識の深化を図った。
- ③ 選手及び関係者のインテグリティ(誠実さ、真摯さ、高潔さ)に関する意識向上促進のため、JOC セミナー等に6回26名が参加した。

- ④ (公財) 日本アンチ・ドーピング機構との協力を進めるべくアンチ・ドーピングカンファレンスに参加した。

2. 会員と乗馬の登録

(1) 会員登録

選手、指導者及び団体の活動をサポートするため、会員(6,830:個人6,165、県馬連所属団体416、組成団体所属団体249)の登録を行った。

[前年度 会員6,890:個人6,234、県馬連所属団体404、組成団体所属団体252]

(2) 乗馬登録

乗馬の個体情報(識別、成績、所有者)を登録管理して、競技の公正確保と防疫体制の確立を図り、乗馬(3,910)の登録を行った。

[前年度 3,877]

(3) FEI 登録事務

FEI 公認競技会に参加する人馬(選手97名、馬匹125頭)及び競技役員のFEI 登録事務を行った。

[前年度 選手85名、馬匹124頭]

(4) 登録事務の合理化

「日馬連情報システム」を運用し、迅速かつ正確な登録事務を行った。

3. 競技会規程の制定及び各種資格の認定

(1) 競技会規程の制定・整備

日馬連の各種規程の制定及び改廃を行った。またFEI 各種規程の制定・改廃に対応して、国内規程を改正し、FEI 競技規程の国内適用を図った。

(2) 競技役員資格

- ① 競技役員の資格認定・更新・昇格及び技術向上のため講習会・認定試験を実施(7回)するとともに都道府県馬術連盟等が開催する講習会を公認(13回)した。また、コースデザイナー講習会(2回)を実施した。
- ② 講習会の内容の統一のため、講師の研修会を開催(1回)した。
- ③ 国際競技役員養成のためのFEI 公認講習会を開催(1回)及び開催支援(2回)した。また、海外で開催される講習会に参加する競技役員の支援を行った。さらに、馬場馬術審判員の技術の向上を図るべくWEBを利用した海外講師によるワークショップを開催(1回)した。

(3) 指導者資格

- ① 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者
(公財) 日本スポーツ協会が制定する公認スポーツ指導者制度に基づく統一カ

リキュラムに則り、少年団・高校・大学馬術部あるいは馬術クラブにおいて馬術競技の基礎的実技指導にあたる指導者を養成するコーチ1を日馬連が養成し、資格の認定を行った（1回）。（コーチ3は実施せず）

② 日本馬術連盟認定指導員

馬術指導者の資格認定・更新及び専門知識習得と資質向上のため、日馬連独自のカリキュラムに則って講習を行い、検定試験を実施して資格を付与した（1回）。また、指導者資格・更新復活講習会を開催（1回）した。

(4) 選手の資格認定

騎乗者資格について、主催・公認競技会及び国際競技会参加のための騎乗者の技術レベルを判定し、認定・登録を行った（A級19名、B級372名、EC級5名、C級118名）。また、都道府県馬術連盟等が開催する騎乗者資格認定のための審査会（B級23回、C級29回）を規程に基づいて公認した。

(5) 競技会の公認

会員が主催する競技会を日馬連が公認し、併せて日馬連が指名する者が審判長を担当することにより、競技の安全と公正を推進した（障害116、馬場81、総合5、エンデュランス14：合計216）。

4. 選手の強化

(1) 選手強化対策

- ① 競技力強化のため、海外トレーニング拠点（障害・総合）及び海外コーチングチームを設置した。（JRA 特別振興資金事業）
- ② 優良競技馬による競技活動支援を目的に障害5頭、総合12頭を国内外でオリンピック・世界選手権等を目指している選手に引き続き貸与した。（JRA 特別振興資金事業）
- ③ 騎乗・調教技術の向上を図るため、強化訓練・合宿等を国内において6回（総合5回、障害1回）、海外において2回（いずれも総合）実施した。
- ④ 優秀な成績を挙げた選手をナショナルチームメンバーに認定した（障害3人馬・プロGRESS29名・プロGRESSジュニア22名、馬場2人馬・プロGRESS23名・プロGRESSジュニア19名、総合4人馬・プロGRESS18名・プロGRESSジュニア15名）。

(2) ジュニア育成

国際レベルの選手を育成するため、総合馬術プロGRESSチームについては国内強化合宿（2回）、海外強化合宿（1回）を行った。さらに国内・海外の強化合宿等を開催する予定（障害3回）にしていたが、派遣先や日程の選定が難航したため実施できなかった。

(3) ナショナルトレーニングセンター（NTC）の活用

- ① ナショナルトレーニングセンター中核拠点施設馬術競技強化拠点としてスポーツ庁の指定を受けた御殿場市馬術・スポーツセンターを競技力強化に活用した(21回82日)。
- ② 医科学サポートに関わるデータ収集として、「馬術における騎乗者と馬の動作解析」を実施した。

5. 競技会の開催

(1) 競技会の開催

馬術競技を志すすべての選手の目標として、各種目・各レベルの年度チャンピオンを決定する全日本馬術大会を開催した。

日程	大会名	開催場所
4月28～30日	CCI2*-L Miki 2023 (兼アジア競技大会代表人馬選考対象競技会)	三木ホースランドパーク
5月 8～11日	アジア競技大会馬場馬術代表選考競技会 【ヨーロッパ会場】	ベルギー・LA SANDRY 厩舎
5月18～21日	アジア競技大会馬場馬術代表選考競技会 【日本会場】	三木ホースランドパーク
5月26～27日	アジア競技大会障害馬術代表選考競技会	ベルギー・オフラブパーク
5月26～28日	第44回全日本ヤング総合馬術大会2023・CCI2*-L Yamanashi (兼アジア競技大会代表人馬選考対象競技会)	山梨県馬術競技場
7月29～30日	第75回全日本馬場馬術大会2023 Part II	御殿場市馬術・スポーツセンター
8月 3～ 6日	第47回全日本ジュニア障害馬術大会2023	山梨県馬術競技場
9月 8～10日	第44回全日本ジュニア総合馬術大会2023・CCI2*-S Yamanashi	山梨県馬術競技場
9月14～17日	第75回全日本障害馬術大会2023 Part II	ノーザンホースパーク
9月23～24日	第40回全日本ジュニア馬場馬術大会2023	御殿場市馬術・スポーツセンター
9月23～24日	第24回全日本エンデュランス馬術大会2023	北海道河東郡鹿追町ライディングパークを発着とする特設コース
10月20～22日	第53回全日本総合馬術大会2023・CCI3*-S/ CCI-1* Miki	三木ホースランドパーク
11月 4～ 5日	第1回チャレンジ・ドレッサージュ大会2023	御殿場市馬術・スポーツセンター
11月10～12日	第75回全日本馬場馬術大会2023 Part I	御殿場市馬術・スポーツセンター
11月23～26日	第75回全日本障害馬術大会2023 Part I	三木ホースランドパーク

また、全国で開催される公認競技会を全日本大会の予選とすることにより全国規模の馬術の振興を図った。

さらに、会員増加策の一環として、非日馬連会員の参加を可能とする第1回チャレンジ・ドレッサージュ大会2023を開催（参加者数24名：うち非日馬連会員11名）、同大会への参加を通じて日馬連会員への移行を促すとともに、第40回全日本ジュニア馬場馬術大会2023においてジュニア世代の大会からシニアの全日本大会へ繋ぐステップとなる U30 馬場馬術選手権及び U30 セントジョージクラス馬場馬術競技を新設した。

（2） 競技会の共催

全国レベルでの技能向上の機会である特別国民体育大会馬術競技（鹿児島県）を（公財）日本スポーツ協会及び文部科学省他の団体とともに霧島市牧園特設馬術競技場にて主催した。

また、前年度に引き続き国民スポーツ大会における馬術競技の毎年実施競技への復帰を目指し都道府県馬術連盟等と意見交換を行った。

（3） FEI 公認競技会

- ① 主要国際大会出場資格取得及び国際レベルの選手層の拡大を目的として、FEI 公認競技会（国際総合馬術大会）を4大会実施した。
- ② 会員団体が主催する FEI 公認競技会8大会（障害7、馬場1）の開催を支援した。

（4） ドーピングの防止

- ① 主催競技会及び FEI 公認競技会において馬のドーピング検査を実施（12回）した。また、アジア競技大会馬場馬術代表選考競技会において選考補助検査を実施（2回）した。
- ② （公財）日本アンチ・ドーピング機構と協力して9名に検査を実施した。また、ドーピング防止に関する講習会を実施（2回）し、競技者のドーピング防止に関する知識を広めた。

6. 国際競技会への派遣

（1） 第19回アジア競技大会（2022/杭州）

- ① 障害馬術は、団体戦では4人馬が出場、6位となった。個人戦では杉谷泰造選手が8位に入賞した。
- ② 馬場馬術は、団体戦では3人馬が出場、4位となった。個人戦では黒田龍之介選手が4位に入賞した。
- ③ 総合馬術は、団体戦では4人馬が出場、2位となった。個人戦では吉澤和紘選手が3位に、中島悠介選手が6位にそれぞれ入賞した。

（2） その他の国際競技大会等へ選手・役員を派遣（障害2・総合2）し競技力向上に努めるとともに、海外の情報収集を図り、併せて国際交流・親善を深めた。

- (3) 2024年 CSI-W ワールドカップファイナルの出場権を得た杉山慎一郎選手に馬輸送補助を行った。
- (4) 海外の FEI 公認競技会に参加する日本選手（障害6名・馬場9名・総合9名）を支援した。エンデュランスは令和5年度 FEI 競技会への参加は無かった。

(資料4) 会員と乗馬の登録 (2 関連)

(1) 令和5年度会員登録数

区 分	R5. 3. 31 (A)	入会	退会	R6. 3. 31 (B)	差引増減 (△減)	対前年比 (B/A)
① 正会員	55	0	1	54	△ 1	98.18
イ. 都道府県馬術連盟	47	0	0	47	0	100.00
ロ. 組成団体	4	0	0	4	0	100.00
ハ. 学識経験者	4	0	1	3	△ 1	75.00
② 登録会員	6,890	558	618	6,830	△ 60	99.13
イ. 個人	6,234	526	595	6,165	△ 69	98.89
ロ. 県馬連に所属する団体	404	21	9	416	12	102.97
ハ. 組成団体に所属する団体	252	11	14	249	△ 3	98.81
全日本学生馬術連盟	78	2	0	80	2	102.56
全日本高等学校馬術連盟	85	7	10	82	△ 3	96.47
日本乗馬少年団連盟	54	2	1	55	1	101.85
日本社会人団体馬術連盟	35	0	3	32	△ 3	91.43
③ 賛助会員	2	0	0	2	0	100.00

(2) 令和5年度乗馬登録数

区 分	R5. 3. 31 (A)	登録	抹消	R6. 3. 31 (B)	差引増減 (△減)	対前年比 (B/A)
乗馬登録数	3,877	537	504	3,910	33	100.85

(3) 令和5年度FEI登録数

区 分	選手	馬匹	トレーナー
障害馬術	46	46	
馬場馬術	17	22	
総合馬術	19	37	
エンデュランス	2	0	0
軽乗	0	0	
パラ馬術	13	20	
合 計	97	125	0

(4) 令和5年度FEIパスポート登録数

FEIパスポート (リコグニションカードを含む) 交付・更新・変更数

新規交付	17	(うちマイクロチップ埋込み 1件)
更 新	17	
所有者変更	13	
馬名変更	3	
再発行	0	